

新しい工業教育の推進に向けて

日本工業技術教育学会 会長 早川 信一

日頃より、日本工業教育経営研究会・日本工業技術教育学会へご支援、ご協力いただきまして感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が未だに終息する気配がなく、昨年年第30回工業教育全国研究大会に続き、令和3年度第31回工業教育全国研究大会が中止となりましたのはご承知のとおりです。

このような状況が続いておりますが、新たな工業科の教育課程の編成に向け研修・研究活動を止めるわけにはいきません。第31回工業教育全国研究大会につきましては、講演及び研究発表を誌上発表として、日頃の工業科研究の状況等をお知らせいただきました。

日本工業技術教育学会誌第23巻では、「工業高校の未来を拓くテクノジストの育成」第25巻に「工業高校卒業生における継続的な学びの調査と分析」を示し、工業科が目指す教育の本質、持続可能な社会での工業高校卒業生の継続的な学びに向けた学習環境の確保を研究テーマとしています。

今年度も令和4年3月に学会誌「工業技術教育研究」（第27巻）を発刊する予定であります。令和3年度におきましても学会誌への論文の投稿を受け付けております。日本工業教育研究会・日本工業技術教育学会の活動を盛り上げていくためにも、多くの皆様の投稿をお待ちしております。

さて、現状の学校教育の中で注目されているものにICTを活用した遠隔教育があります。これまでいくつかの新しい取り組みが実践されており、身近な工業高校でも動画による授業や学校・学科の紹介・リモート修学旅行・海外との遠隔研究発表会などが実施されております。あらためて多くの工業高校の専門性の高さを認識することができました。

この遠隔教育を効果的に推進するためには、大変多くの課題があるのも事実ですが、これまで早くから情報技術教育を推進してきた工業高校の取組や、工業教育の経験が生かせる場面もあるように感じます。遠隔教育の具体的な方法や教育体制の在り方などについても、本会関係の方々の教育実践等を様々な教育機関・関係者に紹介、発信できればと考えるとともに期待をしております。

最後に、今後とも多くの方に興味・関心を持っていただける魅力ある研究会・学会とするために、各支部における日々の教育実践・教育研究をできる限り支援してまいりたいと思っております。今後とも日本工業教育経営研究会、日本工業技術教育学会のますますの発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。